

信州ESD通信

2017.4.10 No.1

信州ESDコンソーシアム事務局

目次： 設立総会/お知らせ/団体紹介/

信州ESDコンソーシアム設立総会と 成果発表&交流会が開かれました。

2月18日午前に総会、午後に成果発表&交流会が信州大学教育学部において開催されました。それぞれ、34名、129名の参加者によって有意義な盛会となりました。特に児童生徒による発表は相互に良い交流をもたらしたことがアンケートによってもわかりました。次年度のさらなる向上が期待されました。



第1部<コンソーシアム設立総会> 10:00~12:00 中校舎201

基調講演：「信州ESDコンソーシアムに期待すること」岡本 彩（文科省ユネスコ振興推進係長）

コンソーシアム活動事例紹介：「北陸における知の拠点形成によるESD推進事業」鈴木克徳（北陸コンソーシアム）、「東北の自然環境と防災および国際連携をコアとしたグローバル人材育成とESD地域モデルの創出」小金澤孝昭（東北コンソーシアム）

信州コンソーシアム趣旨・規約案・活動計画説明

支援機関コメント：ユネスコアジア文化センター、日本ユネスコ協会連盟、EPO中部、ESD活動支援センター

第2部<成果発表&交流会> 13:30~16:00 信州大学教育学部図書館 2階大講義室

基調講演：「なぜ君たちにESDが必要なのか」柴尾 智子（ESD活動支援センター）

ユネスコスクールの成果発表：高山小学校、山ノ内町西小学校、山ノ内町南小学校、山ノ内町中学校、信州大学附属松本中学校、中野西高校、長野西高校

その他の学校のポスター発表：山ノ内町東小学校、同北小学校、信州大学附属幼稚園、同長野小学校、同長野中学校、同特別支援学校、同松本小学校、同松本中学校、長野ユネスコ協会青年部つながる



全国のESDコンソーシアム拠点

文科省によるESD推進事業では以下13の地域が選定され、大学や教育委員会を核としてユネスコスクールや一般の学校へのESD推進と支援活動を実施しています。それぞれ特徴的なネーミングや多様な活動がホームページで紹介されておりますのでぜひ参考にご覧ください。

26年度開始 ・宮城教育大学 (ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアム)・金沢大学 (北陸ESD推進コンソーシアム)・三重大学 (三重ブランドのユネスコスクールコンソーシアム)・奈良教育大学 (奈良ESDコンソーシアム)・大牟田市教育委員会 (大牟田ESDコンソーシアム)

27年度開始 ・岡山市教育委員会 (岡山ESDプロジェクト)・千葉大学 (人間力を育む千葉ESDの地域展開)・中部大学 (ESDコンソーシアム愛知)・新居浜市教育委員会 (ESD推進事業協議会)

28年度開始 ・横浜市教育委員会 (横浜市ESD推進コンソーシアム)・静岡大学 (ESD・国際化ふじのくにコンソーシアム)・広島大学 (広島ESDコンソーシアム)・信州大学 (信州ESDコンソーシアム)

ESD小辞典： 持続可能とは？

ESDにおける分かりにくさに「持続可能」とはどんな状態を言うのか？という疑問があります。様々な定義が提案されていますが、元々はサカナのように採りすぎれば減少してしまい、漁業がなりたたなくなる状態を考えてみるのが分かりやすいでしょう。資源を維持するために、資源の量を継続調査し、採る魚の大きさや採る時期を制限したりして、漁業を持続させてきました。それでも思いがけない事態が生じることがあり、余裕を持った利用と保護が必要とされます。また、ゴミのように一方的に増加するものは自然の分解能力内に収まるように生産と消費とを考えなければなりません。

持続可能な社会＝人々の生活を将来にわたって安全、安心に保障するためには、資源やエネルギーに限らず、貧困や経済格差が拡大することなく、人権が保障されるなど社会制度や文化など様々な社会的活動が公正に維持されることも重要になってきています。これらは、国連の2030年目標であるSDGsに詳しく、後日紹介します。

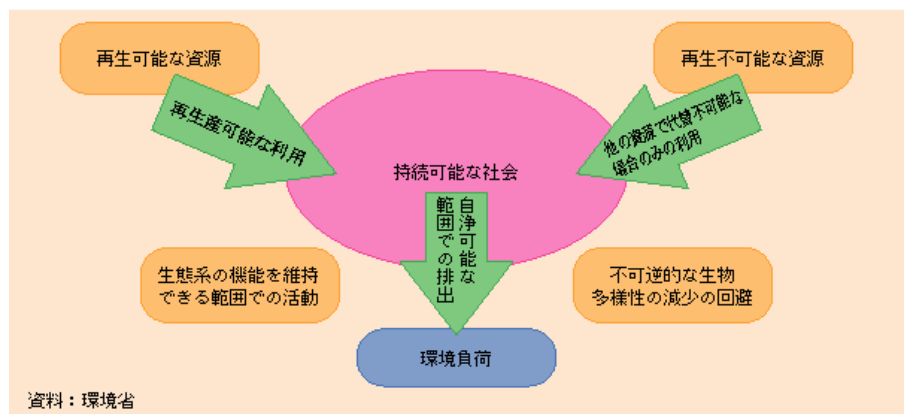
お知らせ

いくつかの団体よりESD資料を提供いただいています。以下をご希望の方は事務局までご連絡ください。

- ・地域版ESD環境教育プログラムガイドブック(平成25・26・27年度各80p)、環境省発行、
- ・これからのESD実践への提案：自己肯定感を育む環境をつくる(7p)、EPO中部発行
- ・教員のためのESDガイドブック(23p)、北陸ESDコンソーシアム発行

各50冊ほどありますので必要部数をご連絡ください。

図1-2-1 環境基本計画における「持続可能な社会」の定義



信州ESD通信No.1 2017.4.10 発行：信州ESDコンソーシアム事務局 編集：渡辺隆一

380-8544長野市西長野6 信州大学教育学部 事務局：白岩 026-238-4034 kyoed@shinshu-u.ac.jp